



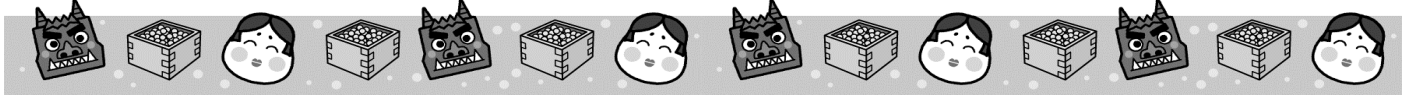
はとぐみだより

2024年2月26日(月)

津田このみ学園

1年で最も寒いと言われる2月ですが、今年は暖かい日が続いていますね。

はと組で過ごすのもあと1カ月になりました。卒園までの日にちを数えてみると、とても少なくて驚きました。卒園までに、はと組のみんなと「楽しいことをいっぱいしたい!」とはと組オリジナルのカレンダーを作成中です。楽しい思い出がたくさん残るように3月も過ごしていきたいと思います。



おにはーそとー! ふくはーうちー!

2月2日に豆まきを行ないました。“ドン! ドン! ドン!”と太鼓の音が聞こえてくると思っていたら、勢いよく鬼が部屋に入ってきました! はと組には勇敢な年長児やおおぐみがありました。鬼に向かって一歩も引くことなく豆を投げ続ける姿はとてがかっこよかったです。また怖がる友達を守るように友達の前に立つかっこいいあかぐみもありました。豆まきを通して子ども達の様々な成長が見られました。「怖がらせてごめんなさい」と5人の鬼は謝って、園から出ていきました。



どんどん記録を伸ばしています!

一輪車

まず、サドルに座ることが難しい一輪車に、「できないー」と悔しさを見せつつも、その悔しさをバネに何度も何度も繰り返し、挑戦しています。少しずつ安定して座れるようになり、鉄棒に手を添えて進み、今では手を離して乗れるようになってきています。毎日粘り強くコツコツ取り組んできた姿勢は素晴らしいです! その姿は友達にも良い影響を及ぼしています。「わたしもやってみたい!」という子が増え、「3回落ちちゃったら交代ね」と自分たちで回数を決めて、順番に遊んでいます! 「まっすぐ前を見たらいいんやで!」とやりやすかった方法を友達に教えてあげる姿もありました。



なわとび

回すタイミングとジャンプするタイミングがうまくつかめなかった縄跳びも、跳べる回数がどんどん増え、年長児は100回跳ぶことを目標にしていました。毎日毎日遊ぶうちにどんどん回数が増えていき100回を超える子が増え、なんと311回も跳んだ子もいます。年長の友達を見ておおぐみ、あかぐみも頑張っています。跳べた回数が1桁だった子が年長の友達と一緒に遊び、すぐに安定して10回跳べるようになり、2月には70回も跳べました。今ではおおぐみも100回を目標に頑張っています。あかぐみの友達も、“まわしてびよん”の回数が増えている子がたくさんいます。連続して跳べる友達もいて、年長さんから「あか組だけどすごい!」と言われ、とてもうれしそうな表情を見せていました。

3月のおおわかれ遠足では縄跳び大会が行われます。「おうちでいっぱい跳んで練習してるんや」という声も聞こえてきていて、はとぐみのみんなの頑張りに期待しています。